

消化管の中で最も長い部を占める小腸には、多種多様の病変が存在します。これまでこれらの病変を内視鏡的に直接観察することが困難か不可能であったこともあり、“小腸はまだ暗黒大陸である”という表現も一部でなされてきました。しかし、最近のダブルバルーン・シングルバルーン小腸内視鏡やカプセル内視鏡検査の急速な発達と普及に伴い、小腸病変、特にその小さな病変が白日のもとにさらされつつあり、小腸も暗黒大陸か

ら脱して希望のもてる大陸と化しつつあります。このような小腸の疾患研究の黎明期に、本特集号が皆様方の小腸病変への興味を引くものであり、さらにはこれら病変の理解を深めるのに少しでも役立つものであるとしたら、大変うれしく存じます。幸いに、この分野のエキスパートから原稿をご執筆いただけたこともあり、いずれも秀でた力作ばかりで読みごたえがあります。ぜひ御一読を薦めたく存じます。

胃と腸

6月号（第44巻・第7号）予告

発売予定
定 価

6月25日
2,625円

主題／食道胃接合部腺癌の診断

序 説	東海大学医学部外科	幕 内 博 康
主 題	新たな定義に基づいた食道胃接合部の診断	
—臨床診断：内視鏡の立場から	島根大学医学部附属病院光学医療診療部	天野 祐二・他
臨床診断—X線の立場から：食道X線からみた食道胃接合部	虎ノ門病院健康管理センター	加藤 久人・他
—病理診断	国立がんセンター中央病院臨床検査部	下田 忠和・他
食道胃接合部腺癌の特徴—Barrett 食道癌，胃上部癌との比較		
—病理の立場から	杏林大学医学部病理	大倉 康男・他
—外科の立場から	鹿児島大学腫瘍制御学・消化器外科学	石神 純也・他
食道胃接合部腺癌のX線診断		
—存在診断，深達度診断，食道浸潤診断について	南風病院消化器科	島岡 俊治・他
—早期癌形態を呈した病変の臨床病理学的特徴から	多摩がん検診センター消化器科	小田 丈二・他
食道胃接合部腺癌の通常内視鏡診断—通常内視鏡の立場から		
：臨床病理学的事項に基づいて	仙台厚生病院内視鏡センター	高林 広明・他
腺癌—通常内視鏡の立場から	国立がんセンター中央病院内視鏡部	小田 一郎・他
食道胃接合部癌のNBI拡大観察による診断	佐久総合病院胃腸科	高橋亜紀子・他
食道胃接合部腺癌の内視鏡診断—拡大内視鏡	癌研有明病院消化器内科	藤崎 順子・他
腺癌と鑑別を要する接合部病変	大阪成人病センター消化器内科	河田奈都子・他

胃と腸（第44巻 第6号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itc @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2009年5月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,625円(本体2,500円+税5%)

2009年年々ぎめ予約講読料 36,410円

(増刊号 5,985円を含む13冊)(送料弊社負担)

MedicalFinder パーソナルオプション付 47,500円

(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株)

☎ (03) 3813-5001

広告取扱 (有) 文京メディカル ☎ (03) 3817-8036

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・JICIS < (株)日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 天野・塩田・中・能藤